

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	20037
課題名	健診環境下における白衣対面下血圧測定値と非対面自動血圧測定値の比較検討
研究期間	西暦 2020 年 6 月 15 日 ~ 2022 年 3 月 31 日
研究の対象	以下の市民啓発イベントに参加された方 2017年9月2日(土)3日(日)：腕をまくろう旭川2017（フィール旭川） 2018年1月21日(日)：腕をまくろう富良野2018（富良野協会病院） 2018年6月2日(土)：腕をまくろう旭川2018（大雪アリーナ）
利用する試料・情報の種類	<input type="checkbox"/> 診療情報（詳細：） <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名：） <input type="checkbox"/> 血液 <input checked="" type="checkbox"/> その他（アンケート内容、血圧測定値 等） 情報：年齢、性別、身長、体重、高血圧・糖尿病・脂質異常症・脳血管疾患・心疾患・腎臓病の有無、喫煙歴・アルコール摂取・運動習慣の有無、白衣対面下血圧測定値、非対面自動血圧測定値 等
研究の意義、目的	【背景】 高血圧はあらゆる動脈硬化性心血管病の元凶であり、健康寿命延伸のためには国民の血圧管理は極めて重要です。近年、患者さんを1人静かな環境下において、自動診察室血圧計により複数回測定した血圧を 非対面自動血圧測定 と定義し、その積極的な活用が提唱されていますが、健診環境下における 非対面自動血圧測定 と従来の白衣対面下血圧測定との差異については明らかになっていません。 【目的】 一般住民を対象に健診環境下の非対面自動血圧測定値と白衣下対面血圧測定値を比較検討する。 【意義】 健康寿命の延伸のために、住民が自分の血圧値を知り、高血圧であるか否かを的確に知ることができます。健診環境下の AOBP 測定値と白衣下対面血圧測定値を比較検討し、AOBP 測定の有用性について新たな知見が得られることが期待できます。
研究の方法	研究の種類・デザイン：既存のアンケート結果と血圧測定値を用いた後向き観察研究です。 上記イベントに参加された20歳以上の住民に対し、上記内容の情報をアンケート調査し、年齢、性別と、2種類の方法で測定した血圧値との関連を調べます。
その他	本研究は資金不要、利益相反が生じる企業等との関わりはありません。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および連絡先・研究責任者：

所在地：旭川市緑が丘東 2-1-1-1

電話：0166-68-2442

担当者の所属・氏名：内科学講座 循環・呼吸・神経病態内科学分野
講師 中川 直樹